

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	緑キッズ東松山		
○保護者評価実施期間	2025年1月30日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年1月30日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムを意識し、5領域を生かした活動内容を考えている。	教員・保育士などの経験豊富な職員が日々の日案を工夫し、チームでの支援作りに力を入れ、個々の職員が責任を持って個別に対応している。	新しい活動にも意欲的に取り組んでいきたい。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門の職員(心理士・作業療法士・言語療法士)がない。	職員募集しても難しい。	専門の職員がないので、研修の機会を設け、支援に繋げていく。
2	職員の出入り(異動も含む)が多すぎる為、情報共有が難しい。	職員確保が難しい。	都度、ミーティングなどで、情報共有の場を設け、職員内で知識を深めていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		緑キッズ東松山		公表日		2025年3月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	広々とした、訓練室での活動を工夫して過ごしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	人員配置には気を配りながら支援をしています。	支援が行き届くように配置を考えていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	段差はなく支援がしやすい環境になっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	物の配置に工夫して過ごしやすい空間となっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	ミーティングや朝礼などで目標設定を行い、適宜振り返りを行なっている。	振り返りの時間を増やす工夫をしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	3		毎月2回のミーティングがある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	ミーティングで職員間の意見交換を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	8		外部評価のやり方を知る機会が必要。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	ミーティングで施設内研修を行い、本社研修も毎月1回行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2	職員間で共有し、ホームページにて公表されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	支援会議で共有する機会を設けている。	今後も支援会議が多く取れるように工夫していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	個々で日案を作成し、共有しながら行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	支援プログラムをもとに5領域を意識した活動を実施している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	日々の子どもの状況を見ながら無理のない支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	申し送りにて情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	終了後には出来ないため、翌日に行い共有している。	翌日の朝礼で行っているが、時間が足りない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	3	専門的支援記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	4		支援会議の時間を増やしていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	2		情報共有の時間を設ける機会を増やす。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	見本を見せたり、視覚化する事で寄り添う支援を心掛けている。	アイテムやツールを増やしていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	教育機関は連携出来ている。	主治医との連携は難しい課題である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	2	お迎え時に先生と子どもの様子を情報共有している。下校時刻の2重チェックを毎朝行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	担当者会議を行い、共有している。	今後相談員を通して機会を設けていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4	担当者会議を行い、共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5		今後機会があれば参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		交流の機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	出来る限り参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	送迎時や連絡帳やメールや電話を通して共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6		今後、研修などに参加していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	契約時にお伝えし、その都度、説明が出来るようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	3	保護者面談を行う機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	1		面談などでゆっくり説明できる時間の確保を取ってきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2	送迎時や保護者面談などで行っている。	面談などでゆっくり相談できる時間の確保を取ってきたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	2	毎月のお便りやブログなどで活動の様子をお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	キャビネットに保管し、鍵をかけています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	ジェスチャーなどを使い、伝え方に配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		行っていないので、今後は機会を作れるようにしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		保護者会などで周知する機会を設けていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		職員間で周知し、訓練をするようにしていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	保護者様より、連絡帳や電話などでお伝えしていただいている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	保護者様より契約時やその都度、アレルギーの有無、検査結果の知らせをお伝えいただき、コピーして保管している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	施設内研修を行い、職員で周知し、その都度危険な箇所を共有している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	お出掛けをする際は、送迎時にお伝えするようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ミーティングで職員で共有し、再発防止策を検討し、危険な箇所の確認をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	施設内研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	支援計画書に記載している。		